

～メキシコ留学日記 8月号～

見山達哉

はじめに

¡Hola! この度、第47期日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画に埼玉県を代表して参加させていただいている見山達哉と申します。先月の8月にメキシコへ到着いたしました。これから約1年メキシコ留学する予定です。これから毎月のレポートでメキシコでの生活・勉強・文化についての情報を共有していきたいと思えます。

メキシコ生活のはじまり

メキシコ生活のはじまりはトラブルの連続でした。飛行機が機材トラブルのために欠航したため、その日は成田空港近くのホテルへ滞在し、1日遅れでメキシコへ到着しました。

そして、移動での疲労が溜まった中、ホテルを予約している1週間以内に家を探さなければならず、研修生一同慣れない環境のなか大変な日々を過ごしていたと思います。

幸いにも、自分は第46期の先輩が住んでいた家に受け入れて貰うことができ、無事に部屋を借りることができました。



(47期研修メンバー/成田空港にて)

CEPE

現在はメキシコ国立自治大学 (UNAM) 付属の語学学校である CEPE に通っており、スペイン語・メキシコの歴史を学ぶのが生活の中心となっております。

スペイン語は大学の第2外国語の授業で3年ほど学びましたが、ネイティブと話す機会は少なかつたため、最初は授業についていくのにとても苦労しました。

幸運にも？スペイン語の先生はとても情熱的な方で、喋るのも早く、宿題もたくさん出してくれるため、スペイン語へ打ち込める環境に身を置くことができます。授業が終わったら家の近くの図書館へ行き、夜遅くまで課題や勉強するのが平日のルーティンとなっております。



(家の近くにあるおしゃれな図書館)

最後に

メキシコへ来て、1番感じていることは、メキシコ人は人との繋がりをとても大切にしているなということです。

例えば、レストランや食堂へ入ると、店員と「Hola!! (こんにちは)」と挨拶を交わします。そして、出る時には「Hasta luego. Buen dia!! (またね。素敵な一日を!)」と声をかけられます。もちろん日本でも店員さんから声をかけられますがそれはマニュアル的なものであり、コミュニケーションを図るものではありません。

また、私は家の近くにある食堂へよく行くのですが、1週間ぐらい経つと店員さんが顔を覚えてくれ、いつも近くを通り過ぎると「Hola.¿Como estás? (やあ、調子はどうだい?)」といつも声をかけてくれます。

メキシコで人間関係ができていくのは、メキシコという土地に自分が受け入れられているようで非常に嬉しいものです。メキシコ人の人との繋がりを大切に性格のおかげでホームシックになることもなく毎日楽しく過ごすことができます。

今回のレポートはここまででとなります。それではまた。Hasta Pronto!!



(家の近くの食堂のタコス)



(革命記念塔から見たメキシコシティの景色)